

議員定数と報酬について議論

～報酬については、2月議会で結論か～

議会の動き

今、河村市長の名古屋市でホットな話題でもある議員定数と報酬ですが、さいたま市議会でも、12月議会開会に先立ち、議会運営委員会に提案が出され、議論が行われました。

▼ 適正な議員数は？ 現在<64>→既に決まっている改革定数<60>→更なる削減<?人>

現在議場には64人の議員がいますが、さいたま市議会は2年前、既に定数を60とする削減を決定しています。しかし、今回、自民党会派より定数54の提案があり、民主党・無所属の会も賛同を表明しましたが、各会派の意見が異なる中、改正条例の提出には至りませんでした。今後も引き続き議論されることとなります。

▼ 報酬は現下の厳しい経済状況にかんがみた削減を

報酬については複数案が各会派より提示されました。現下の厳しい経済状況にかんがみて、一定期間の報酬削減(削減幅10%案、15%案など)を行い、その間に報酬審議会に報酬額の見直しをしてもらおうという案や、政令市化以前の報酬額に戻そうという案が出され、合意を模索する為、議長預かりとなりました。

削減の方向では議会全体が一致しているため、2月議会には結論が出せそうです。

▼ 議会のあり方の議論必要

議会には様々な形があります。両極で言えば「高報酬の議員で少ない定数」が効率的という考え方もありますし、「無報酬議員で多い定数」が市民の声が届いてよいという考え方もあります。今こそ、「ただ人数も報酬も少なければ少ないほどいい」というのではなく、どんな議会を目指すのか、理念から議論する必要があるのではないのでしょうか。またその他にも、政務調査のあり方や、市民に開かれた議会など、基本の議論が必要です。

「さいたま市行財政改革推進プラン2010」策定される

～少子高齢社会の財源不足へ、的確な対応を～

さいたま市は昨年12月、新たに「さいたま市行財政改革推進プラン2010」を策定しました。

日本を取り巻く経済状況の他に、少子高齢社会の到来による構造的な財政需要によって、将来に向かって厳しい財政運営を強いられています。また、市民サービスの面でも、高齢者の方々の暮らしを支える政策を厚くしていく必要が増すなど、転換が必要になってきます。

市では策定にあたり、事務事業の総点検を行い、特に課題となる事業について「行財政改革公開審議」で議論を重ねました。

市の保養施設の一部廃止や運営見直し、イベントの再構築、類似施設の統合など、192項目の具体策が盛り込まれています。

もっと違う形の改革がいいのではという提案がある項目については、議会で更に提案をしていく予定です。



事業仕分けの結果を受け、改革の具体策を市長に提案しました

高木まり市政報告会・プロジェクトミーティングのお知らせ

市の様々なことを高木からご報告させていただくとともに、会場の皆さんから自由にご意見やご質問をいただく会です。当日ぶらりとご参加ください。

●とき：2月11日(祝) 14:00～16:00 ●テーマ：「合併10年のさいたま市と今後」

●ところ：プラザノース第3セミナーーム さいたま市北区宮原町1丁目852番地1 TEL:048-653-9255

*駐車場あり *電車:ニューシャトル「加茂宮駅」徒歩5分 *バス:JR宮原駅より「メディカルセンター行き」本郷住宅下車/JR大宮駅より「上尾行き」北区役所下車

編集後記

皆様におかれましては、新年をいかがお過ごしでしょうか。

さいたま市の来年度の予算は、生活保護費の増大などで極めて厳しい状況ですが、一月議会で改革度をしっかりチェックして参ります。

また、一月議会は代表質問に立つ予定です。次回を真議会への挑戦としている為、市議会における本会議質問の最後の締めくくりになります。さいたま市への熱い思いを込めた質問にしたいと思っています。

子どもの成長は早いもので、長女は四月に小学校へ。選挙中に入学式です。

このレポートを「市政レポート」としてお送りするものも今回が最後になりますが、今後も主力でがんばりますのでよろしくお願ひします!

(高木)